

放課後等デイサービスガイドライン自己評価表

アンケート実施期間：2023年12月
結果公表日：2024年3月29日

回答率

事業所職員： 3名回答、回答率 100%
保護者様： 21名回答、回答率 75%

職員の意見

○環境・体制整備

- ・環境に関して、広さは十分に確保出来ている。足元という観点では劣化により時々凹んでしまう部分があったため、総務と連携し、リフォームを行った。再度凹みが現れた際には迅速に連携、対応していく。
- ・体制に関しては児童発達支援管理責任者兼管理者1名、指導員3名を確保出来ていたものの、職員の定着面で課題があり送迎や安全管理面で工夫して対応をおこなった。

○業務改善

- ・ミーティングなどで疑問に思ったことに関しては100%解決している。
- ・PDCAサイクルの一環として、必ず「C評価」「P目標」に関しては指導員全員の意見を伺い、全員の総意が現れるようにしている。その上、ミーティングでその日に来る児童の支援の方向性を確認し、全員で同じ方向を向いて支援が出来るようにしている。

○適切な支援の提供

- ・業務前ミーティング、業務後ミーティングを行うことで支援に関する方向性は整ったように思う。指導員の支援力も確保出来、教室としてレベル高く業務に取り組むことが出来た。
- ・江戸川区発達相談支援センター主催の研修に各職員自主的に参加したことで、ABAについての知識を深めると共に江戸川区での様々な事例に触れ支援の引き出しを増やすことが出来た。

○関係機関や保護者との連携

- ・適時学校や相談支援事業所に連携をとり、それぞれの子どもを社会資源で囲んでいる。必要があれば学校で行われる保護者との面談に同席したり、支援級の先生に療育の様子を見に来て頂いたりしている。

○保護者への説明責任等

- ・送迎時の引継ぎなどで必要があれば時間を掛けて丁寧に引き継ぐように全職員が周知している。
- ・家庭連携を通じて、時には動画にて子どもの様子を共有し、その時の目標や現状の困り感にフィットするように配慮をしている。
- ・疑問に思ったことなどは随時電話やメールでも受け付けている。

○非常時等の対応

- ・BCPマニュアルなど、準備はされているもののそのマニュアルを保護者が見る機会が設定されていない。その為、今後は保護者会等を通じて各マニュアルを展示し、保護者に見える形を整えていきたい。
- ・事故などの緊急性の高いものに関しては教室の管理者を中心に指示を出し、対応に当たっている。エリアの上長に連絡、警察手配(※必要時)、病院手配(※必要時)、対応など。
- ・避難訓練を地震、火事とまんべんなく全ての曜日で出来るように工面し、予定を立てている。
- ・避難訓練に関しては職員も勉強を重ねることでより実践的な内容を行うことが出来ている。※こういったケースで無くなってしまう人が多いのかデータを参照。※避難する際にの注意点を消防庁推奨の動画等を見て研究。

保護者様のご意見

○環境・体制整備

教室環境については、「見学の手機がなかったため不明」との意見をいただいたが、多くの方から良い評価をいただいた。

職員の配置数や専門性については、「大変勉強されていて為になるアドバイスをいつも頂いています」との意見をいただく等、多くの方から評価をいただいたものの、職員の定着を望む意見もいただいた。

○適切な支援の提供

個別支援計画の作成や活動プログラムの工夫については、「毎回色々な企画を楽しみにしています」、「コロナが明け、外での活動も増えて嬉しいです」との意見をいただき、多くの方から良い評価をいただいた。

○保護者への説明等

保護者様との情報伝達や支援については、「適切な対応と報告をして頂いています。家庭でも活かしていきたいです」、「動画を見せて下さったり、具体的に褒めて下さったり…親でも気付かない良い部分を沢山みつけてくださっています」、「大変勉強になる助言をいつも頂き、感謝しております。毎回感動の内容です」との意見をいただき、多くの方から良い評価をいただいた。

○非常時等の対応

緊急時対応マニュアル等の周知・説明については、多くの方から良い評価をいただいたが、「どちらともいえない」との評価も数件いただいた。今後、周知・説明させて頂く機会が作れるよう検討していきたい。

○満足度

子どもは通所を楽しみにしているかについては、9割以上の方から良い評価をいただいた。事業所の支援の満足度については、「たくさんの自信をここでつけて下さり自然な笑顔を引き出して下さいました。感謝しています。先生方にはずっと変わらずにいて下さることを強くのぞみます」、「いつも魅力的な企画で楽しませていただいております。」との意見をいただく等、100%の満足度を得ることができた。

昨年度の振り返り

○今年度の取り組む具体策

- ・より利用者をしっかり観察、分析し、特性を見極め、適切に伝えられるようにする。良い行動を適度に増やし、利用者が自主的に利用したくなるような運営を行っていく。
- ・体制をより充実させ、より細かい支援を行い、受け入れを行っていく。従業員それぞれのスキルアップだけでは対応しきれない部分を人数を入れていくことで、より良いサービスを提供していく。
- ・会社の理念や教室で大切にしていることを振り返る。基本的なことに立ち返る機会を年間計画に入れ込み活動を進めていく。

○改善できた点・まだ残る課題

- ・前年度、回答頂いた方々の満足度が98%であったところ、今年度は100%に改善された。
- ・保護者会などがなく、教室の見える化の推進があまり出来ていなかった。
- ・人材の定着を今後も検討していく必要がある。



アンケート結果からみる教室の強み・改善点

○教室の強み

- ・ 支 援 の 質 の 良 さ 。
- ・ 保 護 者 等 へ の 説 明 責 任 。
- ・子どもが教室に行くことを楽しみにしている。
- ・保護者の方が支援に満足されている。

○改善点

- ・ 人 員 の 定 着
- ・ 災 害 時 等 の マ ニ ュ ア ル の 保 護 者 へ の 周 知 不 足
- ・地域との触れ合い、交流



中長期的な改善計画・1年間で取り組む具体策

○中長期的な改善計画

- ・人材育成方法の見直し。
- ・マニュアル、BCPなどの開示。

○1年間で取り組む具体策

- ・新人職員に役割を与えるなど、自己重要感を満たし、人員の定着、安定を計る。
- ・他事業所などの連携や地域イベントの企画を通して地域とつながりを持っていく。
- ・マニュアル、BCPなどをブログや連絡帳、保護者会など様々な場面やツールを用いて周知をおこなっていく。